



▶オリーブの実を摘む参加者

オリーブの実を摘んだよ!  
天草オリーブ収穫祭2016

10月9日、天草市オリーブ振興協議会が試験栽培する志柿町のオリーブ畑(15アール)で「天草オリーブ収穫祭2016」が開催されました。“オリーブの島天草”の取り組みを知っていただき、オリーブを身近に感じてもらうと同協議会が初めて開催。参加者約50人が約80kgの実を収穫しました。参加した家族づれは、「初めてオリーブを摘みました。楽しいですね」などと話していました。

自慢の衣装を披露

あまくさシルバーファッションショー



▶ピンクのドレスで登場した前川さん

9月28日、天草市民センターで「あまくさシルバーファッションショー」が開催されました。いきいきとした生活を送ってもらうことを目的に天草市社会福祉協議会が主催し、今回で4回目。平均年齢85歳の22人(男性7人、女性15人)が思いおもしろい衣装で登場。100歳で今回の最高齢出演者の前川サヨ子さんは、「いっちょん緊張しませんでした。また来年も出たい」と話していました。

最後の運動会は地区住民とともに

深海地区・小学校合同運動会



▲リレーで競い合う小学生

9月25日、深海小学校グラウンドで、「深海地区・小学校合同運動会」が開催されました。深海小学校が来年3月に閉校となることから町民体育祭と合同で開催。「ありがとう深海小学校 力を合わせ 悔いの残らない 史上最高の運動会に！」をテーマに、徒競争やムカデ競争など35種目を実施。児童たちや地区住民らのがんばりに温かい声援が送られ、笑いあり涙ありと最高の盛り上がりを見せていました。

潜伏キリシタンの文化を伝える

ローマ法王から手紙が届く



▲市長に報告する河浦青年同志会の皆さん

9月23日、河浦青年同志会(下田貴久会長)がローマ法王から手紙が届いたことを市長に報告し、その手紙を寄贈しました。天草の潜伏キリシタンの歴史などをカトリック信者の最高指導者であるローマ法王に伝えようと、バチカンに手紙を直接送ったところ、返信が届いたもの。下田会長は、「この手紙を力に変え、世界遺産登録をみざす崎津集落のPRにつなげたい」と話していました。

いつまでもお幸せに!

新和地域熊日金婚夫婦表彰伝達式



▲結婚50周年を迎えられた金婚夫婦

9月29日、新和地域の第58回熊日金婚夫婦表彰伝達式が市役所新和支所で行われ、結婚50周年を迎えた12組の金婚夫婦が表彰を受けられました。熊日日新聞社からの表彰状と記念品、市から夫婦湯のみを贈呈。代表して井手幸信さんが、「50年の重みをあらためてかみしめています。今後は、お互いを尊重しながら、健康で楽しく過ごしていきます」と謝辞を述べられ、記念撮影を行いました。今年、市内では186組が表彰されました。

地域を元気に!

下津浦彼岸花フェスタ



▲もちなげのようす

10月9日、有明町の下津浦諏訪宮の境内で同宮の秋季例大祭に合わせて「下津浦彼岸花フェスタ」が開催されました。地域の活性化・交流を目的に下津浦地区振興会が毎年開催しているもの。会場では、かき氷やわたあめ、から揚げなどのバザー、子ども会による太鼓踊りが奉納されたあと、お楽しみ抽選会やもちなげも実施。地域住民など約200人が集い、会場はたいへんにぎわいました。

秋の風物詩を満喫

鬼池地区お月見会



▶雨のため室内で綱引きをする参加者

9月17日、鬼池地区コミュニティセンターでお月見会が開催され、約40人の親子が参加しました。鬼池まちづくり振興会が文化を継承しようと地元の子供たち呼びかけ、はじめて行ったもの。お団子づくりや影絵クイズ、同会員による竹取物語の劇のほか、綱引きも行われました。参加した子供たちは、「綱引きは手が痛くなったけど楽しかった」「お団子がおいしかった」と秋の風物詩を満喫していました。

ホタルが飛び交うふるさとをめざし

河内川の清掃活動



▶川の中でごみを拾う中学生

9月25日、栖本地区振興会の環境部会と栖本ホタルの会が栖本町の河内川の清掃を実施しました。町の水源となっている川を守り、自然を大切に育て、ホタルが飛び交うふるさとをめざして年に2回行っているもの。栖本中学校の生徒や職員、地域住民など110人が参加して、川の中や周辺のごみを拾いました。同校3年の岡田彩菜<sup>あやな</sup>さんは、「これからもきれいな川を守っていきましょう」と話していました。